



鶴小だより

学校教育目標 やさしく かしく たくましく

5月号

校長 秋元 江利子

つるっ子のみんな 頑張っています！



年度当初の懇談会には多数ご参加いただきましてありがとうございました。各学級にて直接ご挨拶をさせていただきながら、より一層、保護者の皆様と共にお子様の成長を支えていきたいという思いを強くしました。

さて、令和5年度がスタートしてから1ヶ月が経ち、徐々に新しい学級の友達や担任にも慣れてきたようです。各学年のがんばりを紹介します。

1年生。小学校生活に慣れてきました。基本的な学習の仕方を学びながら国語や算数の勉強を始めました。給食もおいしく食べています。

2年生。生活科の授業で1年生に学校案内をしました。下級生をリードする姿がたのもしかったです。係活動も当番活動も上手に行っています。

3年生。理科や社会の授業が始まりました。身近な自然や地域のことについて新たな発見をしながら楽しく学習をしています。

4年生。友達の意見に耳を傾けながら集中して学習しています。もくもくそうじは下級生のお手本になっています。

5年生。家庭科の授業が始まりました。裁縫実習や調理実習に意欲を見せています。授業に向かう姿勢は真剣そのものです。自分で考え行動する自主性が芽生えています。

6年生。最高学年として本校のよきリーダーとして活躍しています。1年生を迎える会では1年生のためにメダルを作製しプレゼントしました。下級生へのやさしさを発揮しています。

あたたかなご支援をよろしくお願いいたします

この時期になると思い出されるのは、私自身の初めての授業参観・懇談会のことです。大学を卒業したてで右も左もわからないまま、保護者の皆様の前に立つことになりました。冷や汗をかきながら授業を展開し、学級経営についてお話ししました。やっとの思いですべてが終わろうとしている時にある保護者の方が挙手されました。緊張しながら指名しますと「先生、頑張ってください。新任の先生だからこそその強みもあると思います。」とってください、その瞬間、保護者の皆様から拍手を頂戴しました。当時の保護者の皆様にとっては、たどたどしい私の授業やお話に安心できる材料は全くなかったと思われそうです。しかし、我が子によき影響をという思いで、未熟な私を支えようとするご発言だったと思うのです。そのような保護者の方のお気持ちに心から感謝し「よし！頑張ろう」という気持ちになったものです。

本校の職員も当然のことながら年齢や経験、得意分野等に違いがあります。しかし、共通していることは「子供たちの成長が喜びであり、やりがいである」という思いです。職員一人一人がそれぞれにできることを全力で行うことは、必ずお子様の心に何かを残すと信じています。私は職員が挑戦しようとしていることやうまくいかなくても努力していることこそ大切にし、学び合い高め合える職員集団を作りたいと考えております。

保護者の皆様、地域の皆様の声に耳を傾け謙虚に学びながら、明るく元気で生き生きとした職員育成に努めてまいります。どうぞ皆様、引き続きあたたかなご支援ご協力をお願い申し上げます。